

連合長崎第45回地方委員会を開催！

「今こそブレイクスルー！ すべての労働者の処遇改善と働き方の見直し！」



来賓あいさつ



田上長崎市長



国民民主党長崎県連
白川副代表



社会民主党長崎県連合
吉村代表



立憲民主党長崎県連合
山田代表

連合長崎は2019年2月15日(金)14時から長崎県勤労福祉会館において第45回地方委員会を開催しました。冒頭、宮崎会長から「2019春季生活闘争」「組織拡大」「政治の取り組み」についてのあいさつ(別記)がありました。

また、4月に予定されている長崎市長選挙で連合長崎の推薦を受けている現長崎市長の田上富久様、国民民主党長崎県連副代表 白川あゆみ様、社会民主党長崎県連合代表 吉村庄二様、立憲民主党長崎県連合 山田勝彦様、九州労働金庫長崎県本部本部長 森田孝徳様からご挨拶をいただきました。

組織拡大に関わる交付金の贈呈を行ったあと、一般活動経過報告が満場一致で承認されました。その後、第1号議案「2019春季生活闘争方針」、第2号議案「連合長崎組織拡大の取り組み方針」、第3号議案「連合長崎執行委員の交代について」、第4号議案「第19回統一地方選挙・第25回参議院議員選挙等対策(その2)」が承認されました。

4月に予定されている統一地方選挙の連合長崎推薦候補予定者に、それぞれ決意表明をいただき、スローガン・アピールを確認し、宮崎会長のガンバロー三唱で閉会しました。

地方委員会終了後は、「政治学習会」を開催し、講師として連合本部政治センターの内藤局長をお呼びし、選挙違反のない取組について学ぶとともに、労働組合としてどうやって候補者を周知していくか、SNSやウェブサイトを活用した活動などを学びました。

4月の統一地方選挙、7月の参議院議員選挙を法令を遵守し、取り組みを進めていきます。

宮崎会長あいさつ



私から、大きく3点について申し上げます。

その第1は、2019春季生活闘争についてであります。

今次春闘の大きな柱は、賃金引上げと働き方の見直しによる長時間労働の是正です。

まず、賃金引き上げについてですが、連合は2014春季生活闘争以降、「底上げ春闘」を掲げて取り組み、一定の成果を上げてきていますし、「拡がり」が出てきているのも事実です。しかし、「賃上げ」の流れが社会の隅々まで届いているとはいえず、「格差是正」についても、それぞれの組織における積極的な交渉により改善されてはいるものの、まだまだ道半ばにあると言わざるをえません。

したがって、今次春闘においても、「月例賃金」の引上げにこだわる、そのうえで、従来以上に「賃金水準」「賃金の絶対値」にこだわる、との方針になっています。そのためには、まず、組合員の賃金実態を把握することが重要であり、そして必ずクリアしなければならない「最低到達水準」「到達目標水準」を設定しながら、要求を組み立てていくことになります。

「格差是正」をめざす立場から言えば、3つの格差、すなわち「企業規模間」「雇用形態間」「男女間」の格差が実態としてどうなっているのか、具体的に把握したうえで、春季生活闘争を通じて改善していかなければなりません。

春季生活闘争の大きな柱の2点目は、働き方の見直しによる長時間労働の是正についてであります。

長時間労働を縮減していくためには、時間外労働の縮減と休暇の取得拡大の両面からの取り組みとなりますが、働く人の努力だけでは限界があります。大胆な仕事の見直し、マネジメントの強化など労使間で徹底して論議していくことが必要です。そして、一部にそのしわ寄せが偏ったりしていないかを含め職場点検活動など、職場へのフォロー活動も重要です。

そして何より管理職はもとより社員・組合員の意識改革にも取り組まなければなりません。各企業における人材確保、離職防止の観点を含めぜひ実効ある取り組みを要請します。

また、連合は、3月6日を「36の日」として、記念日協会に申請し、認定されました。ご存知の通り、36とは、36協定のことです。時間外労働を命令するためには、労働組合、もしくは、労働者の過半数代表との協定が必要ですが、あまり知られていません。連合は記念日を制定することで広くアピールすることとしています。

大きな課題の第二は、組織拡大についてであります。連合長崎は、2014年2月の地方委員会で、「年間拡大目標を1500人、2020年の中期目標を結成時の6万人にする」との方針を確認・決定しました。

中期目標を設定してから、早いもので、5年が経過し2020年に向けて最終段階にきました。それぞれの組織のご協力により、減少傾向に歯止めをかけて、現在は拡大傾向にあると言えます。

組織拡大は、私たちの組織を守っていくためにとっても重要取り組みであることは間違いありませんが、厳しい労働環境で働いている人たちにとっては、労働組合に入りたくても入れない人たちが数多くいます。職場に、労働組合をつくり、できるだけ多くの働く仲間をつくっていくことは私たち連合長崎の大きな役割だと思えます。

2020年6万人連合長崎を実現していく、その思いをぜひ本地方委員会で意思統一していきたいと思えます。

第三の課題は、政治の取り組みです。

全く緊張感も危機感もない、おごり、傲慢な今の安倍政権をこのまま放置してしまうと、日本の未来はないと思えます。

安倍総理は、自民党大会で、「悪夢のような民主党政権」といったそうですが、果たしてそうでしょうか。自民党にとっては、「悪夢」の時代だったことは間違いありませんが、それまで長く続いた自民党政権の負の遺産を抱えながら、これ以上将来にツケは回さない、そして少なくとも子供・子育て政策については、民主党政権だからこそ実現できたと思えます。民主党政権時代が悪かった、というイメージ戦略に対しては、真っ向から、反論していかなければなりません。

この流れを変えるためには、夏の参議院議員選挙で、組織内比例候補者全員と、長崎選挙区「白川あゆみ」さんを何としても勝たせなければなりません。今の政党支持率の状況では、参議院議員選挙は戦えません。したがって、その前哨戦となる統一地方選挙で、私たちが推薦する議員全員を当選させることが極めて重要になります。

本日の地方委員会であらためて、連合長崎としての方針を確認・決定いただき、これから投票日まで、一つひとつの行動を丁寧かつスピード感と緊張感をもって行動を展開していきましょう。

統一地方選挙 推薦(支持)候補者

投開票日

県議選

市長
市議・町議選

4月7日(日)

4月21日(日)

※島原市議選は6月2日(日)

連合長崎の総力を結集し、 推薦候補予定者全員の 当選を勝ち取ろう！



〈長崎市長選挙候補予定者〉
田上 富久

2019年 統一地方選挙 連合長崎推薦(支持)候補予定者一覧

長崎県議会議員選挙立候補予定者

長 崎	アカ ギ ユキ ヒト	立憲民主	組 織 外	新 人
長 崎	サカ モト ヒロシ	社会民主	自 治 労	現1期
長 崎	ナカ ムラ タイ スク	国民民主	基幹労連	新 人
長 崎	フカ ホリ ヒロシ	国民民主	電力総連	現2期
佐世保・北松	ツツミ 典 コ	社会民主	日 教 組	新 人
佐世保・北松	ミヤ ジマ タイ スク	無 所 属	組 織 外	元
佐世保・北松	ヤマ タ トモ コ	国民民主	組 織 外	現3期
諫 早	ヤマ グチ ハツ ミ	国民民主	組 織 外	元
大 村	マキ ヤマ ヒロ カズ	立憲民主	組 織 外	新 人
西彼杵郡	アイ バ アツ コ	国民民主	組 織 外	新 人
島 原	クスノキ タイ スク	無 無 所	組 織 外	前
五 島	ヤマ タ ヒロ シ	属 所 属	組 織 外	現4期

市議会議員選挙立候補予定者

長 崎	イケ ダ アキ コ	社会民主	日 教 組	現3期
長 崎	イッ ウ キョウ タカ	国民民主	基幹労連	現4期
長 崎	イノ ウエ シノ ヒサ	国民民主	基幹労連	現3期
長 崎	ウメ ハラ カズ キ	国民民主	基幹労連	現2期
長 崎	キ モリ トシ ヤ	国民民主	組 織 外	現1期
長 崎	ナカ サト ヤス ヒロ	社会民主	自 治 労	現1期

※

長 崎	ニシ タ ミ ノブ	国民民主	基幹労連	現4期
長 崎	ノ グチ タツ ヤ	無 所 属	私 交 通	現4期
長 崎	ヤマ タニ ヨシ ヒロ	立憲民主	組 織 外	新 人
佐世保	オ ノ ハラ シグル	国民民主	基幹労連	現3期
佐世保	コ ガ ツツム	社会民主	自 治 労	現3期
佐世保	シバ ヤマ ケン イチ	国民民主	基幹労連	現3期
佐世保	ナガ タ ヒサ ト	社会民主	自 治 労	現2期
佐世保	ヒサ ノ ヒサ トシ	国民民主	基幹労連	現2期
佐世保	ヤマ シタ タカ ヨシ	国民民主	基幹労連	現6期
佐世保	ハ バ ヨシ ロウ	社会民主	自 治 労	新 人
大 村	ミス ガミ トオル	無 所 属	自 治 労	現2期
大 村	ムラ カミ ノブ ヨシ	社会民主	組 織 外	現7期
大 村	ヨシ タ ヒロシ	立憲民主	組 織 外	新 人
島 原	吉 ノ カツ ヨシ	無 所 属	私鉄総連	現2期

町議会議員選挙立候補予定者

時 津	ヤマ グチ カズ ミ	国民民主	基幹労連	現2期
長 与	ア ベ ミヤコ	社会民主	組 織 外	現2期
長 与	ウチ ムラ ヒロ ノブ	国民民主	基幹労連	現2期
長 与	ニシ タ タケン	国民民主	基幹労連	新 人



「2019春季生活闘争、 第19回統一地方選挙勝利！政策・制度要求実現！」 長崎地区総決起集会

3月6日は「サブロクの日」



宮崎会長



連合本部 山根木総合局長



田上富久 長崎市長



白川あゆみ 国民民主党長崎県連 副代表

連合長崎と連合長崎地域協議会は、共催で3月6日（水）18時30分から長崎市江戸町公園にて「2019春季生活闘争、第19回統一地方選挙勝利！政策・制度要求実現！」長崎地区総決起集会を開催し、約800人が結集しました。

集会の冒頭、連合長崎宮崎辰弥会長は、「今春闘の柱は2つ。1つは賃金引き上げの流れを確実なものにしていくこと、もう1つは働き方改革の見直しによる長時間労働の是正だ。法令順守は最低のラインであり、法を上回る労働条件を実現することこそ労働組合の存在意義がある。連合は、本年3月6日をサブロクの日として、記念日協会に申請し、認定された。企業の約半数が協定を締結していない、そのうち三分の一が協定の存在すら知らないという実態がある。広く世間にアピールし、働く人にとって優しい長崎県を作っていく。」「今の政治を変えるためには、夏の参議院選挙、その前哨戦となる統一地方選挙で完全勝利を果たせなければならない。絶対に勝つんだという気持ちを合わせ、それぞれの組織が、組合員一人一人の力を借りて、総力戦で闘い抜こう」と訴えました。

その後、連合本部山根木晴久総合局長、田上富久長崎市長、白川あゆみ国民民主党長崎県連副代表からご挨拶をいただきました。また、第19回統一地方選挙候補予定者の皆様にもご来場いただき、それぞれ決意表明をいただきました。

集会宣言を採択したのち、連合長崎地域協議会堀江副議長の力強いガンバロー三唱で集会を終了しました。

県内各地でも総決起集会が予定されています。連合長崎、地協、構成組織が一丸となり、2019春季生活闘争、第19回統一地方選挙の勝利に向け、総力を結集した取り組みを進めましょう！



知っていますか？ 36協定！

～残業には、「36協定」が必須！～



3月6日は
「36(サブロク)の日」！
特設サイト
<http://action36.jp/>

法定労働時間(1日8時間・1週40時間)を超えて、または法定休日(1週間に1日または4週を通じて4日の休日)に、使用者が労働者を働かせることは、原則できないことになっています。

ただし、「時間外・休日労働に関する協定」を使用者が労働者の代表※2と締結し、労働基準監督署長に届け出れば、その協定の範囲内でのみ、例外的に時間外労働・休日労働を認めています。(労働基準法第36条)

この「時間外労働・休日労働に関する協定」が、通称「36(サブロク)協定」です！

36協定を結んだからといって、「何時間でも、休日でも残業させてよい」ということではありません。

時間外労働・休日労働は必要最小限にとどめられるべきものです。

「時間外労働そのものが例外なものだ」ということを、使用者はもちろん労働者も認識することが大切です。

※2 過半数で組織する労働組合もしくは労働者の過半数を代表する者。

2019年4月施行法改正で、

1

時間外労働の
上限規制※3

2

労働時間の
客観的な把握

3

年次有給
休暇の
取得促進※4

4

中小企業への
割増賃金率の
猶予措置廃止※5

5

勤務間
インターバル
制度※6導入の
努力義務

が導入されます！

※3 時間外労働の上限(限度時間)は、月45時間・年360時間とし、臨時的な特別の事情がある場合でも、①年720時間、②休日労働を含み単月100時間未満、③休日労働を含み2～6ヶ月平均80時間、④原則である月45時間の時間外労働を上回る回数は年6回までを限度とすることを規定。(中小企業への適用は2020年4月)

※4 10日以上有給休暇が付与される労働者に対し、使用者は毎年

時季を指定して5日取得させることを規定。

※5 中小企業に適用が猶予されていた月60時間超の時間外労働に係る割増賃金率の引き上げ(25%→50%)について、2023年4月より猶予を廃止し、50%以上の割増賃金率の支払いを義務づけ。

※6 終業時刻から始業時刻までの間に一定時間以上の休息時間を設ける制度。(※3、※4、※5については罰則付きで規定)

協会けんぽ長崎支部より加入者の皆様へ、保険料率変更のご案内

平成31年3月分(4月納付分)以降

健康保険料率

10.20% → 10.24%

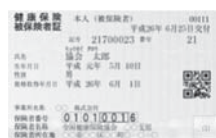
介護保険料率

1.57% → 1.73%

※ 任意継続被保険者の方は、平成31年4月分(4月納付分)から保険料率が変わります。
※ 40歳から64歳までの方には、健康保険料率に全国一律の介護保険料率が加わります。

都道府県支部別に「引上げ」「引下げ」「据え置き」の3種類の改定があります。当支部では、全国平均と比べて、医療にかかった費用の水準が高かったことから「引上げ」になります。皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

加入者お一人おひとりの健康が保険料率の上昇を抑える大きな力になります。



お手元の保険証をご確認ください！
協会けんぽの保険証(水色)

保険証の下、保険者名称欄に記載されている支部名が、ご加入されている支部となります。



全国健康保険協会 長崎支部
協会けんぽ

<http://www.kyoukaikenpo.or.jp/>

電話:095-829-6000(代表)
(受付時間/平日 8:30～17:15)

〒850-8537 長崎市大黒町 9-22 大久保大黒町ビル本館 8 階

◆詳しくは、協会けんぽHPをご確認ください。

協会けんぽ

検索

3.8国際女性デー長崎集会

「時間管理術を学び ワークライフバランスを実現しよう」

「いつも時間ギリギリに行動してしまう」「どうでもいいことに手をつけて、大事なことが後回し」「朝、バタバタして時間がない」皆さん、思い当たることはありませんか？

今年の3.8国際女性デー長崎集会は、このような悩みを解決するヒントにしてもらうため「忙しいあなたへサクッとほかどる時間管理術」と題して、クラスペディア代表の吉岡和佳子様にご講演いただきました。仕事も生活もどちらも充実していることは贅沢なことなのだろうか？という問いかけから始まり、なりたい自分を想像し、それに近づくためにはどうしたらいいかということをおみんなで考えました。

方法の一つとしては、つつい後回しになってしまう「投資の時間」(緊急ではないが重要な時間)を生み出していくこと。今日からできるちょっとしたことを積み重ねることによって、大きな効果を生む可能性があります。今回の講演内容を生かし、「追われる日々」から

の脱却にチャレンジしましょう。

当日は、参議院議員候補予定者の白川あゆみさんにもご挨拶に来ていただきました。

「投資の時間」を増やすためのヒント

- ☆完璧主義のワナ(時と場合によっては、7～8割の完成度でいいときもある)
- ☆スキマ時間(通勤・移動時間、朝、寝る前、家事の時間)を活用する
- ☆突発事態のために、スケジュールを詰めすぎない(緩衝帯をつくる)
- ☆整理整頓も時間節約には重要(「戻す場所」と「置いておく期限」を決めておく)
- ☆手帳を活用し、自分のための時間(投資の時間)を先に入れる

講師の吉岡和佳子様



「政治の場でも女性の活躍を」
白川あゆみさん挨拶



たくさんの方にご参加いただきました